

2019 年 8 月 6 日
JUSTICE 運営委員会

JUSTICE におけるオープンアクセス・オープンサイエンスの推進に係る
活動概要と活動状況報告

1. 活動概要

JUSTICE では、オープンアクセスに係る以下の活動を実施している。

(1) 論文公表実態調査

国立情報学研究所 (NII) の国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC Japan) (当時) と合同で、2015 年度から国内研究者の公表論文数、OA 率および APC 支払推定額を把握する調査を実施。

(2) OA2020 対応検討チームの設置

学術雑誌のオープンアクセス出版への転換を目指す国際的なイニシアティブ Open Access 2020 (OA2020) (ドイツ Max Planck Digital Library 主導) の関心表明 (EoI) に署名 (2016.8) し、JUSTICE がこの課題に係る日本の National Contact Points となる (2017.3)。これらを受けて「OA2020 対応検討チーム」を設置 (2017.7) し、国内外の OA (特にゴールド OA) の動向に関する情報収集、現行の購読モデルからオープンアクセスモデルへの転換の可能性についての検討を実施。

2. 活動状況

(1) 海外の状況に関する情報収集

- ・ Elsevier とノルウェー、ポーランドとの移行契約
- ・ Elsevier と CDL との交渉決裂
- ・ Wiley と OhioLINK との移行契約
- ・ CUP と CDL との移行契約
- ・ Plan S のガイダンス改訂 ほか

(2) OA2020 対応ロードマップの公開

海外の事例を参考に JUSTICE の OA2020 対応のロードマップ (日本語版, 英語版) を 2019 年 3 月 5 日付けで公開した。

国内外の情勢に変化があれば、内容の更新を行う。

(3) 論文公表実態調査結果の公開

論文公表実態調査を実施し、2018年度調査の報告書を2019年5月10日付けで公開すると共に、会員館限定で詳細データの提供を開始した。提供しているデータは以下のとおり。

- ・ 概要データ
- ・ 出版社別集計データ
- ・ ジャーナル別集計データ
- ・ 機関別集計データ
- ・ 会員館毎の個別データ

(4) 国際会議への出席

① Global ESAC Workshop

参加者：JUSTICE 運営委員長（OA2020 対応検討チーム主査）

日程：2019年5月28～29日

場所：ミュンヘン

内容：購読費用から出版費用支払いへの移行契約（Transformative agreement）の ESAC ガイドラインに関する修正の議論、参加者（国）からの契約内容の紹介、コンソーシアムとして移行契約をどう進めていくか、またその課題、さらに ESAC コミュニティとして情報交換をどのようにしていくかなどについての意見交換。

* ESAC：APC のモニタリングとその費用に関する情報や移行契約の情報収集を行っているコミュニティ。<https://esac-initiative.org/>

(5) 広報活動

① 公立大学協会図書館協議会総会での講演

演題：オープンアクセスと JUSTICE の取り組みについて

講演日：2019年6月14日

② サンメディアソリューションセミナーでの講演

演題：購読モデルから OA 出版モデルへの転換をめざして：JUSTICE の OA2020 ロードマップの紹介

講演日・場所：2019年6月18日・東京、6月28日・大阪、7月12日・札幌、7月26日・福岡

以上